

環境関連科目について

環境問題は、危急の課題として、広く認識されています。本学の理念においても、「地球社会の調和ある共存」という表現で、解決に向けた方向性が示されており、研究・教育・社会貢献の各側面からの寄与が必要とされています。特に、本学で学び、将来社会において活躍する学生のみなさんにとって、環境問題への対応は、様々な形で、必ず求められるものと思います。

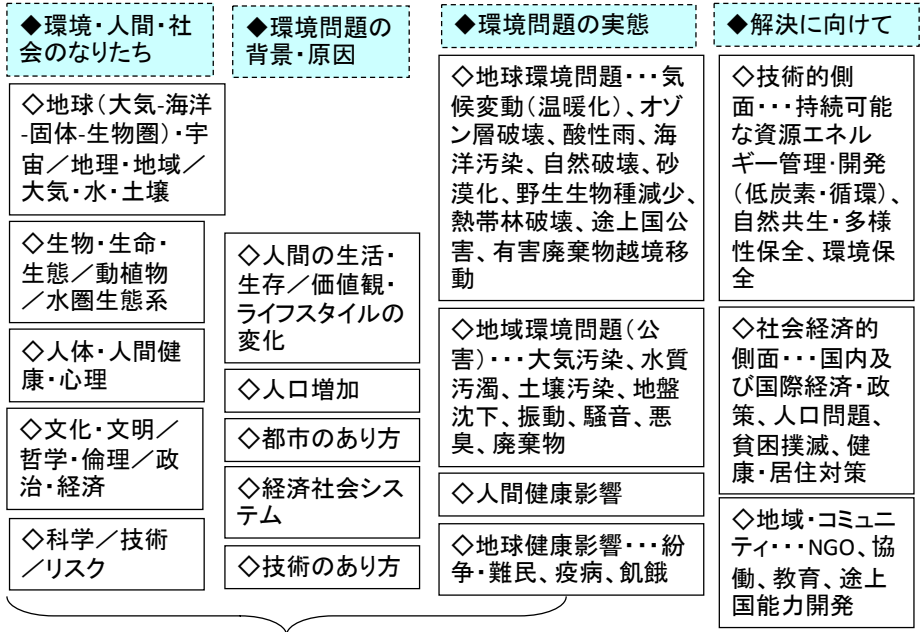
しかし、環境問題は、その背景やメカニズムを含め、非常に多くの要素が絡み合ったものであり、正確に問題の所在を理解し、解決に向けた対策を打つことは、簡単ではありません。さらに、様々な情報や視点が存在するため、時に相反する選択肢がある中で主観的・客観的に物事を判断していくことを求められるケースもあるでしょう。

そのような状況で重要と考えられるのが、地球や自然、人間や社会の成り立ちにまで根ざした知識や思考力、それらをベースに環境問題の実態を把握する能力やセンス、そして過去や他の事例を学びつつ環境問題の解決を目指す思いや力などでしょう。

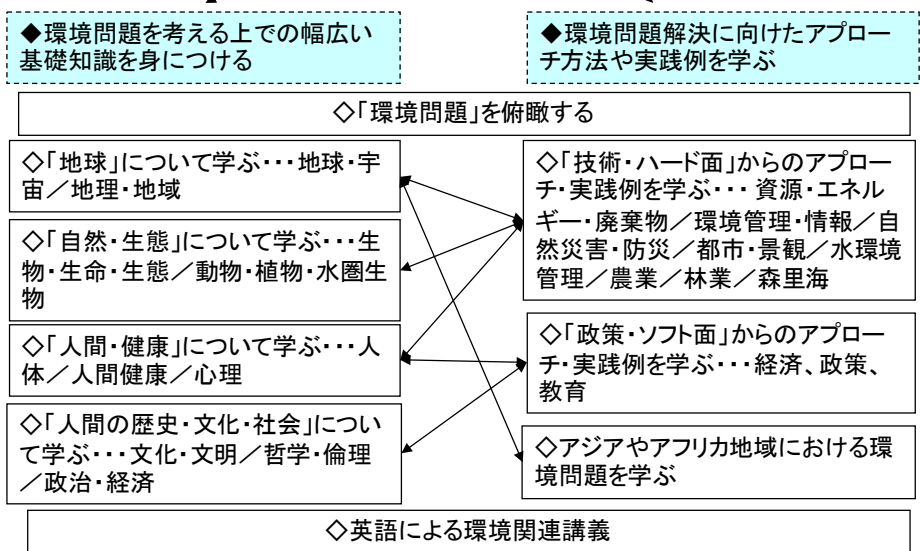
環境問題の捉え方は様々ですが、その基礎から背景、実態、対策までのイメージを図（上方）のように整理しました。いわゆる環境問題としては、実態や解決に向けた側面がクローズアップされやすいのですが、それらのベースとして、環境・人間・社会の成り立ちがあることを忘れてはなりません。それはまた、本学の教育・研究の幅広さや奥深さが活きる点でもあると考えます。

そのことを意識して、今回、図（下方）に示すとおり、本学の科目の整理を試みました。必ずしも、上の図と対応し、網羅できている訳ではありませんが、大きく、基礎知識（左）と学際的・応用的知識（右）に分けました。関心にあわせて受講する、バランスよく受講するなど、目的にあわせて参照して頂ければ幸いです。

【環境問題の基礎・背景・実態・対策の俯瞰イメージ】



【本学科目の整理】



◎：環境問題を中心的テーマにした講義／無：環境問題をテーマの一部に取り上げている講義

科目名	キーワード	群	開講期	授業担当者	曜時限	形態
◆環境問題を考えるうえでの幅広い知識を身につける						
◇環境問題を俯瞰する						
環境学	◎ 大学と環境問題、海、熱帯林、農業、疾病	AB	前期	酒井 伸一 他	月 2	講義
地球環境学のすすめ	◎ 地球環境問題、持続可能性、文理融合	B	前期	小畑 史子 他	木 1	講義
生存圏の科学 - 環境計測・地球再生	◎ 大気圏、センサー、オゾンホール、植物、環境修復	AB	前期	塩谷 雅人 他	月 5	講義
環境の評価	◎ 環境の価値、環境意識、環境倫理	AB	前期	吉岡 崇仁	月 5	ホケセミ
環境科学基礎ゼミナール	◎ ごみ問題、水問題、食料農業問題、持続的社会	B	前期	森本 幸裕 他	火 5	ゼミ
環境農学論	◎ 農業、資源管理、生態系保全、食文化	AB	前期	吉野 章 他	金 4	講義
◇「地球」について学ぶ						
地球：大気・海洋・固体・生物圏						
地球の誕生と進化	46億年の進化史、地球環境変動史	B	後期	平島 崇男 他	火 5	講義
地球の物理	固体地球、流体地球、オゾンホール、大気	B	前期	平原 和朗 他	火 5	講義
地球科学序論	地球と人間社会、温室効果ガスの地中貯留、エネルギー資源の将来	B	後期	山田 泰広 他	金 5	講義
地球科学入門Ⅰ	火山、地震、気象、海洋、地球温暖化問題	B	前期	鎌田 浩毅	金 3・4	講義
地球科学入門Ⅱ	地球のエネルギーバランス、気候変動	B	前期	石川 尚人	水 2	講義
地球科学入門Ⅲ	地球の歴史、地球内部変動、環境変動	B	後期	小木曾 哲	水 2	講義
基礎地球科学ⅠA	地球の構造(気圏、水圏、岩圏)と営み	B	前期	石川 尚人	水 1	講義
基礎地球科学ⅠB	地球環境の変動・変遷、物質循環、気候変動	B	後期	石川 尚人	水 1	講義
基礎地球科学ⅠA	宇宙と地球の歴史	B	前期	酒井 敏	水 1	講義
基礎地球科学ⅠB	地球環境を維持するメカニズム	B	後期	酒井 敏	水 1	講義
地球生物圏史セミナー	地球とそこに住む生物の進化の歴史	B	前期	前田 晴良	火 5	ゼミ
地質科学セミナー	気候変動のメカニズム	B	後期	小畑 正明	月 5	ゼミ
地球変動学基礎セミナー	水河時代、温暖化	B	後期	田上 高広	金 5	ゼミ
地球型惑星の環境地圏科学	地球型惑星、環境地圏、気候変動と河川地形	B	前期	福岡 浩	木 3	ホケセミ
宇宙						
宇宙総合学	太陽活動と気候変動、人類の未来と宇宙生存学	B	前期	柴田 一成 他	火 4	講義
ゼミナール「活動する宇宙」	宇宙、惑星系、地球、生命	B	前期	嶺重 慎 他	水 5	ホケセミ
地理・地域						
地域地理学の基礎	地図、都市、地域と文化、地域再生、住宅開発	A	前期	内田 忠賢	火 2	講義
人文地理学の基礎	◎ 環境と人間生活の相互作用、気候と生活様式	A	前期	小方 登	月 2	講義
人文地理学の基礎	社会・経済・文化・政治、環境、地域	A	前期	小島 泰雄	水 4	講義
人文地理学各論Ⅴ(経済地理)	社会環境、産業の立地条件、人的流動	A	後期	小松原 尚	火 1	講義
自然地理学の基礎	環境変動、自然環境、人間活動	A	前期	水野 一晴	火 2	講義
自然地理学の基礎	衛星画像、気候変化、地形	A	前期	相馬 秀廣	月 3	講義
仮想地球論	具体的な地球、地域をベースに情報集積	AB	前期	荒木 茂 他	金 5	講義
◇「自然・生態」について学ぶ						
生物・生命						
生物自然史基礎論A	◎ 渚、熱帯雨林、共生系、自然生態系の保護	B	前期	加藤 真	木 1	講義
生物自然史基礎論B	◎ 生命の多様性、進化、生物多様性の保護	B	後期	加藤 真	木 1	講義
統合複雑系科学への招待	物質、生命、精神、環境、宇宙、地球	B	前期	吉川 研一 他	木 2	講義
温度生物学概論	地球温暖化、生物多様性、人間の健康	B	後期	梅田 真郷 他	火 2	講義
生命科学概論B	◎ 生物多様性の保全、資源の持続性、公害	B	後期	市岡 孝朗	金 2	講義
環境生物・化学	◎ 環境問題を理解するための生化学、物理化学	B	後期	松田 知成 他	火 1	講義
昆虫・魚・哺乳動物の生理学	環境ホルモン	B	前期	佐久間 正幸 他	金 2	講義
きのこ学入門ゼミナール	菌類、遺伝子工学、森林生態系、生存圏科学	B	前期	本田 与一 他	金 5	ホケセミ
生態						
生態学から持続的社会へ	◎ 持続性科学、農業生態系、生物間相互作用	B	前期	天野 洋 他	水 2	講義
生態科学	生物多様性、生物間相互作用、生態系、地球環境	B	前期	奥田 昇 他	月 1	講義
進化と生態の博物学	生命進化と地球環境の歴史	B	前期	大野 照文 他	木 2	講義
生物多様性と共生ネットワーク～野外調査からメタゲノム解析まで～	◎ 生態系、共進化、生物多様性、相利共生	B	前期	東樹 宏和	集中	ホケセミ
環境微生物概論	微生物(細菌)の多様性と環境、物質循環	B	前期	宮下 英明	水 2	講義
動物						
野生動物研究のすすめⅠ	絶滅が危惧される野生生物	AB	前期	田中 正之 他	金 5	講義
野生動物研究のすすめⅡ	絶滅が危惧される野生生物	AB	後期	田中 正之 他	金 5	講義
霊長類の社会・生態と保全	霊長類の保全	B	後期	半谷 吾郎 他	金 4	講義
博物学の分類研究	種の多様性、動物地理学、外来種、野生動物	AB	前期	本川 雅治	月 2	講義
植物						
植物自然史A	自然環境の成立と重要性	B	前期	戸部 博	月 1	講義
植物自然史B	種の絶滅と未来	B	後期	戸部 博	月 1	講義
植物系統進化学	環境適応、進化、多様性、気候変動	B	後期	瀬戸口 浩彰	月 2	講義
生命科学概論A	多様性、絶滅の危機に瀕した植物の回復	B	前期	瀬戸口 浩彰	金 2	講義
水圏生物						
水圏生物学入門	水辺の生物、生物多様性	B	前期	宮崎 勝己 他	木 4	講義
海産無脊椎動物-分類群と形の多様性	分類学、形態学、海の動物	B	前期	宮崎 勝己	集中	ホケセミ
魚類心理学入門	海洋生物、水産資源、地球環境、食文化	B	前期	益田 玲爾	水 3	ホケセミ
河口域の環境と魚類の生態学	河口域、環境、魚類生態学	B	前期	山下 洋	集中	ホケセミ
海岸生物の生活史	磯浜観察、漁港、漂着物、水族館など	B	前期	久保田 信	集中	ホケセミ
◇「人間・健康」について学ぶ						
人体・健康						
生体制御機構概論	人体機能、仕組み、働き	B	後期	三谷 章 他	月 5	講義
環境汚染と健康	◎ 環境汚染物質、体内代謝、化学物質管理	BD	前期	小泉 昭夫 他	水 4	講義
人間健康科学概論	ライフスタイルと健康	AB	前期	菅沼 信彦 他	月 2	講義
人間健康科学概論	生活環境と健康	AB	後期	市橋 則明 他	月 2	講義
人間健康科学概論	健康科学の最新話題、環境と健康	AB	前期	藤田 正俊 他	月 2	講義
人間健康科学概論	心の健康、小児・高齢者の健康に関わる諸問題	AB	後期	坪山 直生 他	月 2	講義
生体リズムと健康	体内時計、ヒト、社会適応	AB	前期	若村 智子	火 1	講義
生命と放射線	放射線、生体影響、分子機構	B	前期	小松 賢志 他	金 4	講義
心理						
こころの科学入門Ⅰ	感情、他者理解、自己と対人関係、コミュニケーション	AB	前期	吉川 左紀子 他	木 2	講義

科目名	キーワード	群	開講期	授業担当者	曜時間	形態
◇「歴史・文化・社会」について学ぶ						
文化・文明						
文化人類学方法論	文化人類学の現状と可能性、環境と文化	A	前期	岸上 伸啓	金 5	講義
文化人類学フィールド論	地球温暖化、環境汚染とイヌイット社会	A	後期	岸上 伸啓	金 5	講義
生態人類学基礎論	自然環境と生業、人々の環境利用と保全	AB	前期	太田 至 他	火 3	講義
生態人類学各論	開発と環境	A	後期	阿部 健一	木 5	講義
宗教人類学基礎論	自然と文化、世界観	A	前期	山田 孝子	水 2	講義
宗教人類学各論	自然と生態、宗教	A	後期	山田 孝子	水 2	講義
社会学基礎論	現代社会の特徴、社会生活と価値観の変化	A	前期	岡崎 宏樹	木 3	講義
山と森の文化史	◎ 生業の環境史、植生の改変、日本人の自然観	A	後期	米家 泰作	月 2	講義
民俗学	民間伝承、生活と生産、コミュニティ	A	前期	菊地 暁	水 4	講義
人文研ゼミ：前近代日本文明考	文明化、礼儀作法、日用百科書、生活文化	A	前期	横山 俊夫	金 2	ホケゼミ
生命科学の進歩と社会	遺伝子組換え、遺伝子資源、社会の対応	AB	前期	本田 与一	金 4	ホケゼミ
哲学・倫理						
哲学基礎論Ⅱ	科学的考察、自然主義の展開と分類	A	後期	戸田 剛文	月 5	講義
哲学・文化史B	現代の科学が自由と責任の問題に及ぼした影響	AB	後期	戸田 剛文	月 2	講義
倫理学基礎論Ⅰ	道徳を守る理由、結果論的倫理学の検討	A	前期	佐藤 義之	月 4	講義
倫理学基礎論Ⅱ	道徳を守る理由、結果論的倫理学の検討	A	後期	佐藤 義之	月 4	講義
偏見・差別・人権	人間社会と人権、科学技術と人権、環境問題と人権	A	前期	伊藤 禎彦 他	水 4	講義
偏見・差別・人権	人間社会と人権、科学技術と人権、環境問題と人権	A	後期	伊藤 禎彦 他	水 4	講義
政治・経済						
◆環境問題解決に向けたアプローチや実践例を学ぶ						
◇「技術・ハード面」からのアプローチ・実践例						
資源・エネルギー・廃棄物						
現代技術社会論	◎ エネルギー・環境問題、現代科学技術と社会	AB	前期	石原 慶一 他	火 4	講義
現代技術社会論	同上	AB	後期	石原 慶一 他	火 4	講義
低炭素社会構築に挑む	◎ 低炭素社会、地球温暖化、アジア地域	B	前期	松岡 謙 他	金 5	ゼミ
文系向の基礎化学A	物質、分子、環境問題の化学からの考察	B	前期	馬場 正昭	水 5	講義
文系向の基礎化学B	分子、反応、エネルギー問題の化学からの考察	B	後期	馬場 正昭	水 5	講義
環境物理学	地球環境の物理的モデル、エネルギーの発生・利用	B	前期	前田 佳均	月 4	講義
エネルギー地質学概論	◎ 資源・エネルギー、炭素循環、地球環境	B	後期	楠田 啓	木 4	講義
先進エネルギー概論	◎ 再生可能エネルギー、先進原子力エネルギー	AB	後期	大垣 英明 他	木 2	講義
先進エネルギー変換	◎ クリーンなエンジン、機能材料、核融合エネルギー	B	後期	塩路 昌宏 他	水 3	講義
生存圏の科学-太陽エネルギー変換・利用	◎ 炭素循環、シロアリ、バイオマス変換、宇宙太陽発電	B	前期	渡邊 隆司 他	月 5	講義
生存圏の科学-循環型資源・材料開発	◎ 持続可能資源、低炭素、環境低負荷型材料	B	後期	田中 文男 他	月 2	講義
生存圏の科学 - 宇宙環境・利用	宇宙科学、宇宙太陽発電、無線電力送電	B	後期	小嶋 浩嗣 他	火 2	講義
エネルギーを基礎とした先端科学の展望	資源・エネルギー、宇宙、政策	B	前期	岸本 泰明 他	火 4	講義
量子エネルギー材料科学概論	原子力・核融合、先進材料、原子力保全	B	後期	檜木 達也 他	金 4	講義
エンジンの科学	エネルギー・環境問題、効率向上、排気浄化	B	後期	石山 拓二 他	金 4	講義
低温科学B	超伝導応用、エネルギー貯蔵、電力輸送	B	後期	吉村 一良 他	金 5	講義
核融合科学概論-地上に太陽をつくらう-	エネルギー、地球温暖化問題、核融合エネルギー	B	前期	南 貴司 他	水 2	講義
人類と放射線	放射線と科学・技術・社会、原子炉・加速器	B	前期	大久保 嘉高 他	金 3	講義
ごみ問題と3R・循環型社会形成	◎ ごみ問題、廃棄物、リサイクル、循環型社会	B	前期	酒井 伸一 他	月 5	ホケゼミ
地球と資源エネルギー	◎ 資源エネルギー(地球深部、海洋、バイオ燃料)	B	前期	藤本 仁 他	木 5	ホケゼミ
エネルギーと環境のシステム学	◎ エネルギー需給、環境保全、システム学、エネルギー学	AB	前期	手塚 哲夫 他	月 5	ホケゼミ
地殻開発の夢と岩石が織り成す素晴らしい景観	地殻、エネルギー、資源、地下空間、岩盤	B	前期	石田 毅 他	金 5	ホケゼミ
先進核融合エネルギーゼミナール	核融合、エネルギー問題	B	前期	増田 開 他	月 5	ホケゼミ
エネルギー社会工学ゼミナール(豊かさとは何か)	◎ 豊かさ、幸福、社会、環境、エネルギー	AB	前期	石原 慶一 他	月 5	ホケゼミ
再生可能バイオマス資源の形成と利用	◎ バイオマス、木質、分子育種	B	前期	梅澤 俊明 集中	ホケゼミ	
エレクトロニクスの箱庭	パワーエレクトロニクス、太陽電池、LED	B	前期	須田 淳	火 2	ホケゼミ
環境管理・情報						
環境安全学	◎ 大学における環境保全、化学物質、大気、安全衛生管理	AB	後期	中川 浩行 他	月 2	講義
国際技術協力入門	国際技術協力、地球環境、貧困	A	前期	木村 亮	月 1	講義
技術コミュニケーション入門	グリーンICT、環境インフラ、新興国研究	AB	後期	塩瀬 隆之 他	火 3	講義
地球コミュニティ時代の戦略的思考法	ディベート、問題の構造化手法、防災、まちづくり、英語	AB	前期	岡田 憲夫 他	木 2	ホケゼミ
放射線概論	放射線、法令、放射性廃棄物	B	後期	川本 卓男 他	火 4	講義
計算科学が拓く世界	スーパーコンピュータ、地球の大気や流れ	AB	前期	牛島 省 他	水 5	講義
計算科学が拓く世界	同上	AB	後期	牛島 省 他	水 5	講義
21世紀の企業の挑戦	IT 技術、エネルギーと通信	AB	後期	中村 裕一	火 4	講義
自然災害・防災						
環境地圏科学ゼミナールⅠ	斜面災害、災害地質学、温暖化と斜面災害	B	前期	福岡 浩 他	木 4	ゼミ
環境地圏科学ゼミナールⅡ	地球表層陸地部の環境問題、斜面災害、ハザードマップ	B	後期	福岡 浩 他	木 4・5	ゼミ
自然災害科学Ⅰ	気候変動、異常気象、自然災害	B	前期	石川 裕彦 他	水 4	講義
自然災害科学Ⅱ	地球規模の気候変動、水災害、土砂災害	B	後期	戸田 圭一 他	木 2	講義
地盤の科学入門	地盤災害、地盤環境、メタンハイドレード(エネルギー環境)	B	前期	岡 二三生 他	水 5	ホケゼミ
山地流域で学ぶ自然環境のしくみと防災	自然災害、自然環境、防災、現地実習	B	前期	堤 大三 他	集中	ホケゼミ
都市・地域・景観						
都市設計学	◎ 地球環境問題を考える建築、環境都市	B	前期	小林 正美 他	月 3	講義
日本都市史	日本の都市と生活、歴史的環境の保全	B	前期	山岸 常人 他	火 2	講義
景観デザイン論	都市・庭園・景観	B	前期	山岸 貴浩 他	月 2	講義
住居計画学	住居、計画、公共性、地域性、環境問題	B	後期	高田 光雄	水 2	講義
居住環境史基礎ゼミナール	日本の近代建築、都市景観、建築家	A	後期	中嶋 節子	金 2	ゼミ
生活環境構成論基礎ゼミナール	近年の建築論、人間の生活環境	A	後期	西垣 安比古	金 5	ゼミ
生活空間論基礎ゼミナール	都市計画制度史、地方自治、近現代京都	A	前期	伊従 勉	火 2	ゼミ
生活空間再生学ゼミナール	景観、文化財・環境の保全、安全な生活環境	B	前期	林 康裕 他	火 5	ホケゼミ
現地で学ぶ京都の建築	京都、建築、環境	B	前期	加藤 直樹 他	集中	ホケゼミ
文化財建造物から見る木質の科学と技術	文化財、木造、木質、保存科学(京都)	AB	前期	藤井 義久	集中	ホケゼミ
地理学基礎ゼミナールⅢ	グローバル化と地域	A	前期	小島 泰雄 他	水 2	ゼミ
水環境管理						
京の水資源	◎ 京都、水資源、水辺環境、都市化、河川管理	AB	前期	小尻 利治 他	月 5	ホケゼミ
洛南の歴史景観と河川環境巡検	巡検、京都洛南地域、歴史景観、河川環境、流域治水・防災	B	前期	中川 一 他	集中	ホケゼミ
入門海岸海洋工学	海岸と海洋、地球温暖化、沿岸災害と対策	B	前期	間瀬 肇 他	火 5	ホケゼミ
日本海に遊ぶ～日本海学入門	日本海、環境、生物、歴史、暮らし	AB	後期	上野 正博	集中	ホケゼミ
水辺の環境	水環境、川、海、琵琶湖、水害	B	前期	細田 尚 他	集中	ホケゼミ

科目名	キーワード	群	開講期	授業担当者	曜時間	形態
農業・食						
自然と文化-農の営みを軸に	域資源計画、資源利用評価	AB	前期	竹田 晋也 他	水 2	講義
農学の新戦略-増収と環境の調和をめざして-	◎ 土壌、農業、肥料、育種、遺伝子組換え	B	前期	間藤 徹 他	木 2	講義
世界の食料・農業・環境-持続可能社会に向けて-	◎ 食料資源問題、熱帯森林破壊、自然/人間関係史	A	後期	野田 公夫 他	水 2	講義
人文地理学各論 II(村落)	◎ 農村、農業の構造変化	A	後期	小島 泰雄	水 4	講義
生物圏の科学-生命・食糧・環境-	◎ 地球環境、食料生産、生物資源	B	後期	藤崎 憲治 他	木 2	講義
生命・食料・環境と物理学	◎ 物理学と生命・食糧・環境分野	B	後期	小川 雄一	火 3	講義
応用生命科学	◎ 地球や生命を取り巻く環境との共生と調和、バイオテクノロジー	B	後期	三芳 雄一 他	金 1	講義
土とは何だろう	◎ 生態系と土壌、土壌と農業生産、(環境問題の発生)	B	前期	舟川 晋也 他	火 2	講義
食品安全学	◎ 食の安全、衛生管理、添加物、生体防御	B	後期	谷 史人	火 5	講義
牧畜ゼミ	◎ 牛肉、乳牛、草地生態系、乳牛生産・製造	B	前期	熊谷 元	集中	ホケゼミ
わが国における牛肉生産	◎ 牛肉生産、環境負荷、食の安全・安心	AB	前期	北川 政幸	集中	ホケゼミ
小さな微生物の大きな力	◎ バイオテクノロジー、発酵生産、醸造食品	B	前期	小川 順	月 4	ホケゼミ
つばの研究所を体験する-特に生態系の環境研究-	◎ 環境、生態系、大気、植物、国立研究所	B	前期	川島 茂人	集中	ホケゼミ
環境形成基礎ゼミ	◎ 地産地消、食文化、京野菜、マーケティング、市場分析	A	後期	吉野 章	金 3	ホケゼミ
発酵・菌類ゼミナール	◎ △多様性、発酵、酵母、菌類、食品	B	前期	大園 享司	木 4	ホケゼミ
食卓から学ぶ生命科学	◎ 食、健康、味覚、生理学、生化学、生命科学	B	前期	吉村 成弘 他	木 5	ホケゼミ
林業・森林・木材工学						
森林学	◎ 森林を取り巻く社会情勢、林業、森林の生態学	B	前期	徳地 直子 他	金 2	講義
森林基礎科学B	◎ 森林環境保全、植物材料の機能と利用	B	後期	中野 隆人 他	水 1	講義
森林の再生と動態	◎ 森林、再生、動態、環境、京都	B	前期	安藤 信	集中	ホケゼミ
原生的な森林の働き	◎ 森の働き、原生的、芦生研究林、環境	B	前期	中島 皇	集中	ホケゼミ
京都の森を襲った2つの森林流行病	◎ マツ枯れ、ナラ枯れ、微生物、昆虫、樹木	AB	前期	二井 一禎	集中	ホケゼミ
暖地性積雪地域における冬の自然環境	◎ △芦生研究林、冬の自然環境	B	後期	中島 皇	集中	実習
北海道東部の人と自然	◎ 植生・土壌調査法、人工林施業、樹木実習	B	前期	吉岡 崇仁 他	集中	実習
北海道東部の厳冬期の自然環境	◎ 積雪・凍土調査法、人工林施業、獣害調査	B	後期	吉岡 崇仁 他	集中	実習
木造校舎を造る:木の文化再生へ	◎ 木造校舎、jpod、伐採体験、木文化	B	前期	柴田 昌三 他	火 5	ホケゼミ
森を育て活かす-林業体験をとおして考える	◎ 林業、未来社会、森林資源利用、人工林	AB	前期	長谷川 尚史	集中	ホケゼミ
森のつくりだすもの	◎ 森林生態学、林業、物質循環	AB	前期	徳地 直子	集中	ホケゼミ
森里海						
森里海連環学-森・川・海と人のつながり-	◎ 森里海間の物質循環、生態、保全	B	前期	山下 洋 他	金 4	講義
沿岸環境保全学	◎ 統合的沿岸管理・森里海連環・文理融合	B	前期	柴田 昌三 他	金 3	講義
森里海連環学実習A	◎ 由良川、芦生研究林、環境・生態調査	B	前期	山下 洋 他	集中	実習
森里海連環学実習B	◎ 紀伊半島南部、環境・生態・文化調査	B	前期	梅本 信也 他	集中	実習
森里海連環学実習C	◎ 別寒辺牛川流域、森里海連環学	B	前期	吉岡 崇仁 他	集中	実習
森里海のつながりを清流古座川に見る	◎ 森里海連環、古座川、自然、文化、相	B	前期	梅本 信也	集中	ホケゼミ
フィールド実習「森は海の恋人」	◎ 森里海連環、生物多様性、沿岸環境保全	B	前期	長谷川 尚史	集中	ホケゼミ
里山の科学	◎ 里山、地域文化、身近な自然、生物多様性、文化的景観	AB	前期	深町 加津枝	火 3	ホケゼミ
C. W. ニコル「アファンの森」に学ぶ	◎ 里山、植生管理、信州の森林、管理体験	AB	前期	柴田 昌三	集中	ホケゼミ
瀬戸内に見る森里海連環	◎ 瀬戸内、森里海連環学、徳山試験地、人と自然	AB	前期	中島 皇	集中	ホケゼミ
野生動物はなぜ人里に付くのか	◎ 野生生物、集落、距離感、鳥獣法	A	前期	川村 誠	集中	ホケゼミ
◇「政策・ソフト面」からのアプローチ・実践例						
経済						
経済学基礎論B	◎ 環境問題のエコノミクス、社会経済学、環境政策	A	後期	梅澤 直樹	水 4	講義
経済学基礎論B	◎ 同上	A	後期	梅澤 直樹	水 5	講義
環境経済学入門	◎ 環境経済学、地球温暖化、ごみ問題、環境の価値評価	A	後期	栗山 浩一	金 2	ホケゼミ
社会・経済システム原論基礎ゼミナール IB	◎ 環境経済学、資源配分、コモンズ論	A	後期	間宮 陽介	水 4	ゼミ
政策						
公共政策論 IA	◎ 政策の規範的基礎、環境の価値、価値の調整	A	前期	佐野 亘	火 2	講義
公共政策論 IIB	◎ 経済学の観点から考える公共政策	A	後期	松下 京平	金 2	講義
環境政策論 IA	◎ 環境問題の歴史、環境政策、市民・企業の役割	A	前期	松下 和夫	木 4	講義
環境政策論 IB	◎ 地球環境問題、京都議定書、生物多様性、NPO	A	後期	松下 和夫	木 4	講義
環境政策論 IIA	◎ 環境政策、持続可能な発展、自然エネルギー普及策	A	前期	松下 和夫	木 2	講義
環境政策論 IIB	◎ 生物多様性保全政策、自然保護政策、企業・自治体	A	後期	松下 和夫	木 2	講義
地球環境問題と国際合意形成	◎ オゾン層破壊、非政府アクター、地球温暖化、意思決定	A	後期	松本 泰子	木 2	講義
公共政策論基礎ゼミナール IIA	◎ 環境質、エネルギー、持続可能性、生物多様性	A	前期	浅野 耕太	金 3	ゼミ
公共政策論基礎ゼミナール IIB	◎ 環境政策の展望、資源管理、環境紛争解決	A	後期	浅野 耕太	金 3	ゼミ
公共政策のための社会科学入門	◎ 公共選択、政治経済学、社会学、公共心理学	AB	前期	藤井 聡 他	火 3	ホケゼミ
環境政策論基礎ゼミナール	◎ 地球温暖化、政策形成、京都議定書	A	後期	松本 泰子	水 2	ゼミ
◇アジアやアフリカ等の世界各地における環境問題						
アジアにおける地域力とコミュニティ開発	◎ アジアが抱える環境及び防災問題と対策	A	前期	ショウ ラジブ	火 2	講義
変容する東南アジア-環境・生業・社会(国際交流科目)	◎ 東南アジア、環境、生業、社会、文化	A	前期	細田 栄治 他	集中	講義
暮らし・環境-平和-ベトナムに学ぶ-I(国際交流科目)	◎ 地球環境学とは、地域に学ぶ、幸せの風景	A	前期	田中 樹 他	火 5	講義
暮らし・環境-平和-ベトナムに学ぶ-II(国際交流科目)	◎ 上記の臨地研修	A	前期	田中 樹 他	集中	講義
インドナ環境・開発とコミュニティ(国際交流科目)	◎ メコン川、環境と開発、在来農業、少数民族	A	前期	水野 啓 他	集中	講義
アジアの明日をみながらでるIII~アジアを知り、語り、知らせる~	◎ アジア各地域、政治・経済、文化、環境	A	後期	中村 裕一 他	月 3	講義
地域地理学各論 III(アジア・アフリカ)	◎ 中国、食文化、資源・環境、地域格差	A	後期	小島 泰雄	金 2	講義
東南アジア社会のダイナミクス入門	◎ 東南アジア、民主化、グローバルイゼーション	A	前期	岡本 正明	火 5	ホケゼミ
アジア途上国の水環境・衛生問題	◎ 水環境、衛生、アジア、途上国	B	前期	藤井 滋穂 他	火 5	ホケゼミ
アジア地域研究ゼミナール	◎ アジアの様々な問題、自然・歴史・政治経済	AB	前期	甲山 治 他	金 2	ゼミ
ラテンアメリカ地域研究	◎ 先住民族、母なる大地、自然と資源	A	前期	小林 致広	火 5	ホケゼミ
アフリカ地域研究ゼミナール	◎ 焼畑農業、コモンズ、住民参加型保全	AB	前期	山越 言 他	火 5	ゼミ
アフリカの自然保護を考える	◎ 生物多様性、野生動物、アニミズム、里山	AB	前期	山越 言 他	火 4	ホケゼミ
アフリカの人と植物の関わりを考える	◎ 民族植物学、農業国際協力、環境保全、NPO 活動	AB	前期	重田 真義	火 4	ホケゼミ
◇英語による環境関連講義等						
英語講義:エネルギー-資源 I	◎ エネルギーと環境、バイオマス、機能性材料、消費と価値観	AB	後期	奥村 英之 他	金 2	講義
英語講義:エネルギー-資源 II	◎ 資源・エネルギー保全技術、燃料電池	AB	前期	塩路 昌宏 他	金 3	講義
英語講義:開発経済学 I	◎ 経済成長、途上国、技術発展、環境	A	後期	森 純一	月 2	講義
英語講義:開発経済学 II	◎ 国際貿易、途上国、経済発展	A	前期	森 純一	月 2	講義
英語講義:日本の伝統建築と庭園	◎ 住環境、デザイン、文化、再利用、省エネ	AB	後期	鈴木 在乃	火 2	講義
英語講義:日本の農業と食品	◎ 稲作の変遷、農作物と食、農と地域経済	B	後期	白岩 立彦 他	金 1	講義
英語講義:農業は環境に悪影響を与えるか?	◎ 環境負荷、食品生産、病害虫	B	後期	Lee, Philip Wah	火 1	講義
Renewable Energy for SD	◎ Sustainable Development, Energy, Asia, UNESCO e-learnig	AB	後期	大垣 英明 他	木 5	講義
理系の実用英語 A	◎ 地球温暖化、環境政策、米国情報、科学教育	A	前期	鈴木 在乃	金 2	講義
理系の実用英語 B	◎ 海外事情、生活環境、医療、教育、福祉	A	後期	鈴木 在乃	金 2	講義